



平成22年1月20日

小郡三井医師会
会長 丸山 泉 様

福岡市保健福祉局長
(新病院企画調整担当)

新病院整備事業に関するパンフレットの送付について

本市こども病院・感染症センターは、昭和55年の開院以来、小児の高度専門医療機関として、福岡県内をはじめ、九州各地からも広く患者を受け入れており、全国の小児専門病院の中でも高い評価をいただいております。

しかしながら、開院後30年を迎える時期となり、病院施設の老朽化や狭隘化などの問題が顕在化しているため、本来の医療機能にも支障を来すような状態になりつつあり、早急な再整備が必要となっております。

このため、新こども病院の整備に当たっては、現在の中央区唐人町から東区香椎照葉（アイランドシティ）へ場所を移転し、平成26年3月の開院を目指して、新病院の整備を進めております。

新病院整備事業については、市の重要施策であることから、市民の皆様をはじめ、より広くご理解いただくため、この度、パンフレットを作成いたしましたので、ご一読いただきますようお願いいたします。

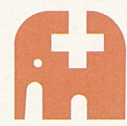
今後とも、本市病院事業へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※福岡県医師会役員の皆様へは、1月14日に、理事会においてお配りいただいております。

【問い合わせ先】

〒810-0062 福岡市中央区天神1丁目8番1号
保健福祉局 新病院企画調整担当
加藤・佐伯 TEL 711-4004

生まれ変わる こども病院



新病院整備事業の概要



こ	ど	も	た	ち	の			
明	る	い	未	来	の	た	め	に

福岡市

時代にふさわしい病院づくりを目指して



福岡市立こども病院・
感染症センター院長

福重淳一郎

市民の皆さんの願いを背景に、昭和55年（1980年）、西日本初の小児専門医療機関として開院した福岡市立こども病院・感染症センターは、「すべての子ども達とそのご家族の健康と明るい未来を願い、時代にふさわしい病院を目指す」という基本理念のもと、まもなく30周年を迎えます。

この間、広く皆様のご理解とご支援を頂きながら、私たち職員一同は、「市や県という枠を超えて、1人でも多くの子ども達の命を救いたい」という志をもって、安全・安心医療の実践に日々、取り組んできました。

しかし、医学の進歩はめざましく、高度専門医療を維持・推進していくためには、医療環境の変化への速やかな対応が求められます。

また、365日・24時間体制で一日も休む事なく医療に取り組んでいるため、一般の建築物に比べて、施設の老朽化も顕著になってきています。一刻も早い、施設・運用面での改善が必要です。わずか3室の手術室で、年間2,000例余りの手術を行っている現状や、産科が開設されていないために、他施設で出生した心臓手術などが必要な新生児が、母親の元を離れてこども病院へ救急搬送されている状況は、早急に解消しなければなりません。

このため、現在計画の中の新病院では、機能的で時代に即した病院づくりを目指して、現状で不足している手術室や新生児集中治療室・小児集中治療室の拡充、合わせて産科などの新たな診療科の整備を行います。

さらに、良質の医療を維持するためには、医療者にとっても、「ここで働いてみたい、働き続けたい」と思える魅力的な病院とすることが大切です。そのため、就労環境を整え、高い技術や知識を習得できる施設づくりに取り組みます。

これまでの30年に及ぶ実績を踏まえ、時代にふさわしい診療の場を創設し、福岡市内はもとより、県内、九州、西日本、そして全国各地の方々のご期待と信頼に応えることができる専門医療機関として、高度医療や小児救急医療のさらなる充実を目指します。



現在のこども病院が行っている医療

小児高度医療

▶ 最先端の高度な技術を使った難しい手術や、低出生体重(2500g未満)の赤ちゃんへ24時間体制での治療を行っています。

小児地域医療

▶ 地域のかかりつけ医から紹介を受けた、主に入院治療が必要な子ども達に、専門的な検査や治療を行っています。

小児救急医療

▶ 入院を必要とする症状の重い救急患者のための「2次救急医療」と、生命の危機にかかわる非常に重症な救急患者のための「3次救急医療(内科的な病気を主体に診療)」を行っています。

数字でみるこども病院

年間手術数

約**2,200**例
(9件/1日)

約2,200例の内訳は、小児外科、心臓血管外科がそれぞれ450例以上、整形外科が約400例で、全国トップクラスの手術数です。このうち、約1割は緊急手術です。

手術室は3室で、平均すると1室当たり1日3件となりますが、1つの手術が長時間となることも多く、手術室が不足しています。また、1日に実施できる手術数にも限りがあり、数か月も手術を待ってもらう場合が発生しています。

年間新生児 搬送受け入れ数

約**300**件

約300件のうち約90件は心臓病の新生児(生まれて28日未満の赤ちゃん)で、このうち約7割は福岡都市圏以外から搬送されてきています。

心臓病などを持つ新生児は、出産後すぐに治療をしなければなりません。しかし、現在のこども病院には産科がないため、生まれる前から心臓病などがわかっている場合でも、やむを得ず他の病院で出産したあと、新生児が母親と離れて救急車などでこども病院に運ばれてきています。

福岡市外からの患者数

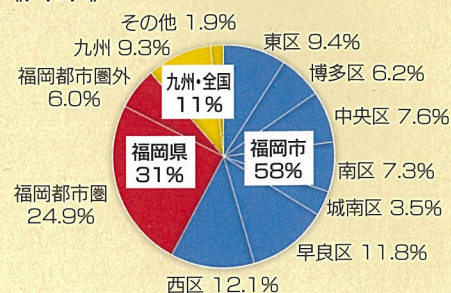
約**50**%

こども病院の患者さんの約半数は市外にお住まいの方です。平成20年度の入院の実績では、市内からが47%、市外からが53%(うち、県外26%)となっています。遠くは北海道からも入院されています。

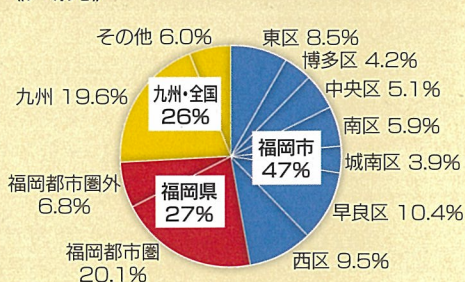
これは、現在のこども病院が全国的にも有数な高度医療を提供していることのあらわれです。

居住地別外来・
入院患者構成比
(平成20年度)

《外来》



《入院》



現在のこども病院



●建物外観

昭和55年(1980年)に開院し、まもなく築30年が経過するこども病院。

手狭になった施設



●窮屈な病室

家族用の補助ベッドを置くと、スペースの余裕が全くありません。

老朽化



●雨漏り

老朽化が進み、雨漏りをしている箇所には、茶色いシミができています。



●傷んだ外壁

外壁にひびが入り、内側の鉄筋がむき出しになっています。



●狭い新生児集中治療室

ベッド間隔が狭くて治療するにも動きづらく、スタッフの背中がぶつくと危険です。



●不足している駐車場

駐車スペースは105台分しかなく、歩道に乗り上げて停めているため、歩行のさまたげとなっています。

一刻も早い建て替えが必要です!!

耐震化への対応

現在の耐震基準に適合しておらず、柱や壁の補強工事を行う場合は、更にスペースが狭くなります。



最近整備されたこども病院

《宮城県立こども病院》

宮城



●建物外観

周囲の緑に映える、明るく優しい色合い。利用者が安心感を持てるような温かみのある建物です。

宮城



●ロビー

子どもの視点からデザインされた、温かみのある落ち着いた雰囲気的空間です。

宮城/近隣施設



●患者家族用滞在施設(ベッドルーム)

遠方から来られる患者家族が利用できる滞在施設(16室)が、近接して設置されています。

《静岡県立こども病院》

静岡



●病室

ベッド周りにゆとりがあり、医師や看護師が治療しやすく、家族もくつろげます。補助ベッドを置いても十分な余裕があります。

静岡



●小児集中治療室

ベッド間に余裕があるので、医師や看護師がスムーズに動くことができ、効率的で安全な診療が行えます。

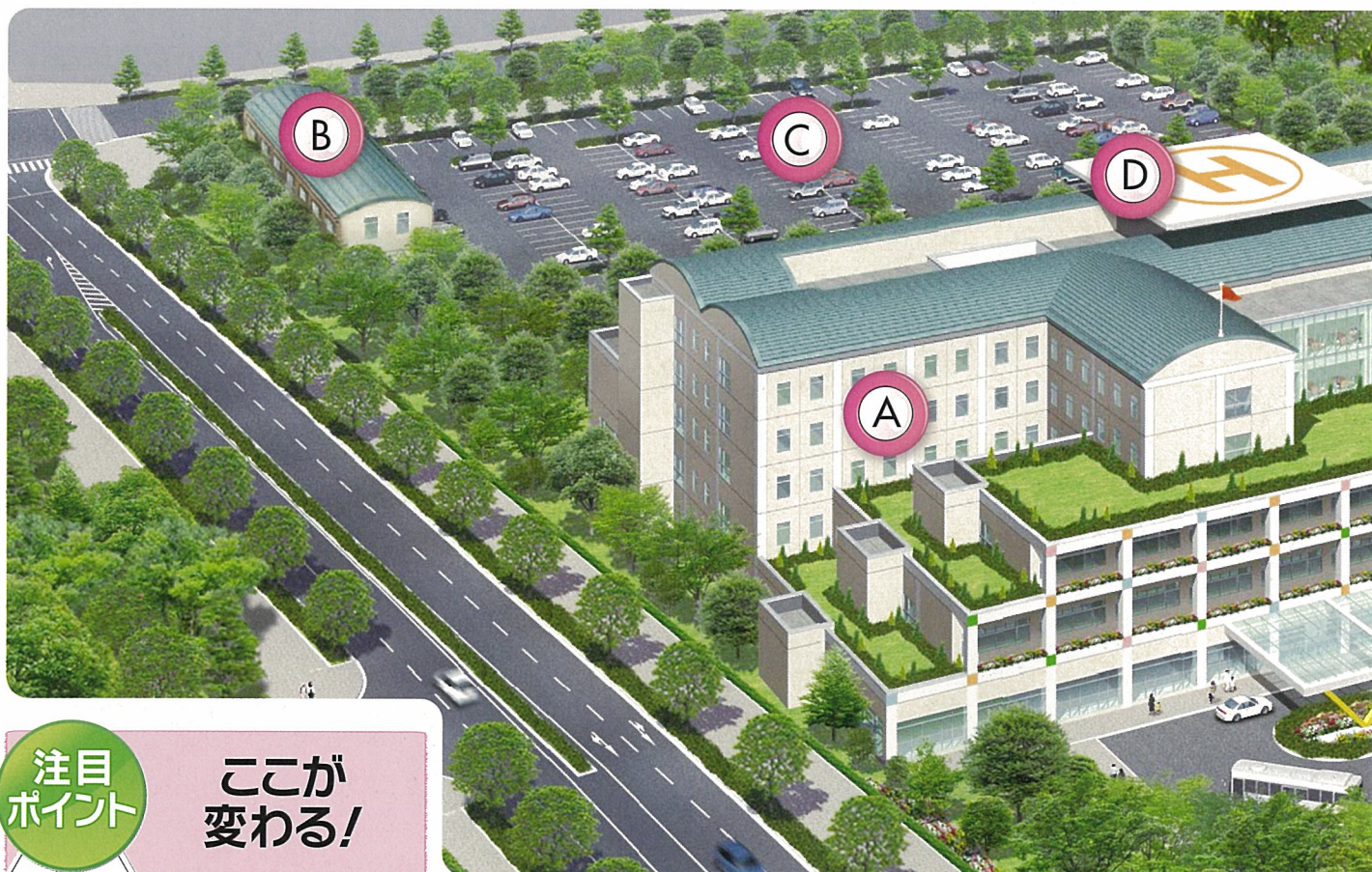
静岡



●プレイルーム

入院中でも家庭と同じように、安心して楽しく遊べます。安全に十分配慮した、広くて明るい空間です。

平成26年(2014年)春、こども



ここが
変わる!

小児医療・周産期医療の充実

現こども
病院 新病院

- **NICU**
(新生児集中治療室) 9床 → 12床
- **PICU**
(小児集中治療室) 6床 → 8床

➡ 小児医療のさらなる充実を図ります。また、産科を新設し、生まれてくる赤ちゃんに病気があると診断された妊婦を受け入れ、出産と同時に赤ちゃんに必要な治療を行える体制(周産期医療体制)を整えます。

施設の充実

現こども
病院 新病院

- **手術室** 3室 → 6室
- **1床当たりの床面積** 73m² → 100m²

スタッフの充実

現こども
病院 新病院

- **医師** 44名 → 66名
- **看護師** 171名 → 389名

※平成21年12月現在の想定数です

診療科の増設

現こども
病院 新病院

17科目 → 22科目

※新設予定の診療科

総合診療科・脳神経外科・
産科・皮膚科・歯科口腔科

集中治療室とは…… 生命の危機にかかわるような重症の患者や、大きな手術を終えたばかりの患者などを24時間体制で治療するための、特別な設備を備えた治療室。

新病院は、



も病院は生まれ変わります！

《イメージ図》

整備場所

東区香椎照葉
(アイランドシティ)

E

F

A

病室

家族もくつろげるよう、広い病室を確保します。プライバシーを尊重し、個室を多く設けます。

B

患者家族用宿泊施設

現在5室 → 新病院10～20室

遠方からのご家族のための宿泊施設。現在は希望どおりの宿泊ができない状況です。

C

駐車場

現在105台 → 新病院450台

D

ヘリポート(新設)

遠隔地からでも迅速な救急搬送が可能になります。

例えば長崎からなら
救急車……………約2時間
ヘリコプター…約30分



E

敷地内バス停(新設)

敷地内にバス停を設置する予定です。雨の日でも濡れずに病院に入れるように工夫します。

F

アイランドシティ中央公園

公園の広さはヤフードーム約4個分。自然豊かな公園に隣接し、良好な療養環境が確保できます。



ゆったり広々、緑あふれる癒しの空間



お兄ちゃん

もっと知りたい! こども病院Q&A



花子



太郎

こども病院ってどんな病院?



こども病院ってどんな病院なの? 私もおなかが痛い時とか、みてもらえるかな?



こども病院は、重い病気のこどもをみる病院なんだよ。たとえば、おなかが痛くなって、いつもみてもらうお医者さんのところに行ったけど、もっと詳しく調べてもらって治療したほうが良いとか、手術したほうが良いということになった時、そのお医者さんに紹介状を書いてもらってから行く病院なんだ。

重い心臓の病気を持った赤ちゃんとか、予定していた日より早く生まれた小さな赤ちゃんとか、福岡だけじゃなく全国各地からも治療を受けに来ているんだよ。



日本中から患者さんが来るってすごいね。こどものための病院って少ないのかな?



こどもの重い病気の治療を専門にしているこども病院は、全国で17あるんだけど、福岡のこども病院以外は全部、国や県がつくった病院なんだ。こども病院を市がつくったのは、福岡だけなんだよ。市立の病院だけど、患者さんの半分くらいは市外から来ていて、全国からも頼りにされているんだ。



福岡市以外から、そんなにたくさんの患者さんが来ているんだね。そんな病院が福岡市にあると、とっても安心だね。

どうして移転することになったの?



こども病院は別の場所に移るんでしょ。どうして引っ越すことになったの?



こども病院の建物は、昭和55年(1980年)にできて、もうすぐ30年になるんだけど、雨漏りしたり、壁にひびが入ったり、建物がかなり傷んできているんだ。それに、地震が起きた時の建物の強さの基準が昔の基準で建ててあるから、大きな地震に備えて、柱や壁をもっと強くする必要があるんだ。でもそうすると、部屋や廊下がもっと狭くなってしまおうだよ。



部屋とか廊下とか、これ以上狭くできないんだね。



そうなんだ。今でも、年に2000件以上も手術をしているのに、手術室は3つしかないし、赤ちゃんの集中治療室も狭くなってしまっているんだよ。でも、部屋を増やしたり大きくしたりするためのスペースは十分じゃないし、駐車場も狭くて、すぐにいっぱいになってしまうんだ。だから、十分な広さが取れる場所に引っ越して、建て替えることになったんだよ。



十分な広さってどのくらいなの?



土地の広さは、今の2倍くらいになるそうだよ。駐車場を広くして欲しいという話もたくさんあったから、今度は十分車が停められるようになるだろうし、治療や入院する部屋も広くなるそうだよ。

現在地での建て替えはできないの？



どうして今の場所で建て替えられないの？



病院を休みにして建て替えることができればいいんだけど、現在も入院中や通院中の患者さんがいるから、簡単には病院を休むことはできないんだ。もし、病院を休んだら、大阪とか遠い病院まで治療を受けに行かなければならなくなる人も出てくるんだよ。



じゃあ、病院を休まずに工事することはできないの？



そうする方法もあるけど、その場合、少しずつ建物を壊して、そこに新しい建物を建てていくから、工事の期間がすごく長くなるし、入院している患者さんの横で工事すると、騒音や振動がすごいんだ。検査や治療に使う大事な機械に影響を与える恐れもあるし、安静が必要なこどもたちに負担をかけてしまうので、望ましい方法ではないよね。それに、そうやって建て替えをしても、結局、今の建物を使いながら工事することになるから、病室とかが理想的な配置になるような設計は難しいそうだよ。

なんでアイランドシティに？



こども病院が移る場所って、アイランドシティだよな。なんでアイランドシティに決めたの？



他にも4か所、候補に挙がった場所(※)があったんだけど、土地の広さとか安さ、周りの環境とかいろんな点を比べてみて、アイランドシティに決めたそうだよ。

例えば、

- 広い土地があるので、より良い設計ができること。
- 将来、医療環境が変わった時にそれに合わせて増築がしやすいこと。
- 土地の値段が他の候補地に比べて安いこと。
- 隣に広さがヤフードーム4個分もあるアイランドシティ中央公園があって、病気を治す環境として良いこと。

などから、候補地の中で一番病院に向いていると判断されたんだよ。



アイランドシティは土地が広いから、自由に建物を設計できるし、将来、部屋を増やしたりするスペースもあるってことね。



そうだね。他の場所は、土地の値段が高かったり、土地が狭かったり、交通渋滞が激しかったりして、それぞれ課題があるんだ。アイランドシティも、他の場所に比べて交通が不便だという意見もあったけど、そういうことも含めて、良い点悪い点をよく考えた結果、アイランドシティに決めたそうだよ。

※他の候補地…九州大学六本松キャンパス跡地(中央区)、九州大学田島寮跡地(城南区)、当仁中学校跡地(城南区)、香椎副都心土地区画整理地区(東区)

広い敷地は必要なの？

新しい病院を建てる土地の広さは、今のこども病院の2倍くらいだと言ったけど、なんでそんなに広くなきゃいけないの？

こども病院には、全国各地からとても難しい手術を受けに来る患者さんがたくさんいるって話したよね。新しい病院でも、重い病気を持った患者さんたちに、これまで以上に良い治療ができるように、できるだけ理想的な設計をするそうだよ。

たとえば、手術室や集中治療室、分娩室とかを同じフロアにおいておけば、分娩室で生まれた赤ちゃんをスムーズに手術室に運べるし、手術が終わったらすぐに集中治療室に連れて行けるから、安全なんだ。

一番治療がしやすく、赤ちゃんに負担をかけないような部屋の配置ね。

そうだね。こんなふうに、1つのフロアに置いて理想的な部屋の配置にするためには、広い面積が必要になるんだよ。

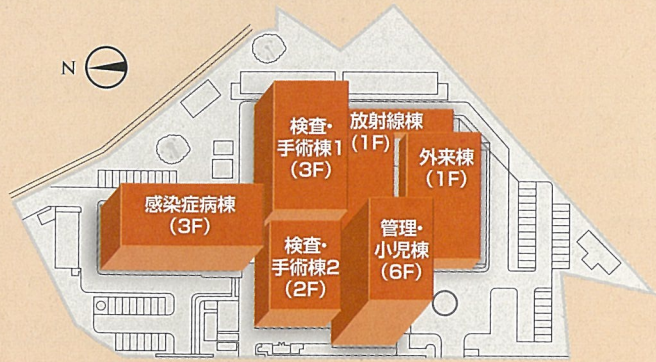
それに、患者さんって小さい子が多いよね。たとえば災害が起きた時とかは、エレベーターが使えなくなる恐れがあるから、こどもたちが安全に避難するためには、建物をあまり高くしない方が良さそうだよ。だから、病院として必要な広さを十分にとるためには、横に広くしないといけないから、それだけ広い土地が必要になるんだ。将来的には、増築用のスペースも必要になるからね。

どうして増築が必要になるの？

たとえば、今よりもっと難しい検査や治療ができるようになるとか、医療を取り巻く環境はどんどん変化しているんだ。医療機器もどんどん進歩しているから、将来新しい機械を入れる時には、そのための場所が必要になるよね。現在のこども病院も、以前、大きな医療機器を設置するために増築工事をしたことがあるんだよ。

なるほど！ 将来のことも考えなきゃいけないのね。

駐車場も、今はすぐにいっぱいになるけど、これまでの3倍くらい広くなるから、駐車しやすくなるよね。



● 現こども病院の敷地図

増築等により、既に敷地は建物でいっぱいになっていて、スペースに余裕はありません。

交通アクセスはどうなるの？

アイランドシティは交通が不便だっていう話もあるんだよね。車で来られない人たちが、バスや電車で来る時はどうなのかな？

アイランドシティは、4年前(平成17年)から人が住みはじめた新しい街なんだよ。



これから街全体が発展して、住む人やそこで働く人たちが増えることになるから、バスの便数も増えたりして、交通アクセスは良くなっていくんだ。周りの道路や都市高速道路も、もっと便利になるように整備していくそうだよ。

今でも、アイランドシティは都市高速道路を利用すれば、福岡市内から比較的短時間で移動できるし、天神からバスに乗れば都市高速道路を通過して約20分で着いてしまうんだよ。それに、新しい病院では、敷地内にバス停を新設する予定だから、これまでみたいにバス停や地下鉄の駅から歩く必要がないし、雨の日も濡れずに病院に入れるようになるそうだから、便利になるね。



でも、急いで治療を行う必要がある患者さんを、アイランドシティまで連れて行くのは大変じゃないかしら？



確かに重症の患者さんは、1分でも早い治療が必要だよな。

だけど、急に具合が悪くなった患者さんや生まれたばかりの赤ちゃんを急いで治療する場合でも、こども病院だけで市内全部をカバーするのは無理なんだよ。だから、今でも、大学病院や国立病院などと協力しながら対応しているんだ。他の病院と連携して、救急の患者さんたちに対応すると考えると、こども病院は現在の位置にあるよりも、アイランドシティに移転したほうが、福岡市全体でみたときの、病院の配置バランスが良くなるそうだよ。

●福岡市内の小児救急医療体制

出典：福岡県保健医療計画

3次救急医療体制(救命救急センター) (生命の危機にかかわる非常に重症な救急患者を診療する病院)	3病院 (※1)	九州大学病院、済生会福岡総合病院 福岡大学病院
2次救急医療体制 (入院を必要とする症状の重い救急患者を診療する病院)	5病院	(国)九州医療センター、九州大学病院 こども病院・感染症センター 福岡大学病院、(国)福岡病院
周産期母子医療センター (生まれてくる赤ちゃんに病気があると診断された妊婦などを診療する病院)	3病院 (※2)	九州大学病院、福岡大学病院 (国)九州医療センター

※1 こども病院は、現在、内科系疾患を主体とした3次救急医療を提供しています。

※2 新病院では産科を整備し、周産期医療をさらに充実させます。

埋め立て地は地震が心配？



アイランドシティは埋め立て地だけど、地震の時、大丈夫かな？



アイランドシティでは、強い地震で地面がひどく揺れたとき、土地が柔らかくなる「液状化」という現象が起こりにくいように、地盤を安定させる改良工事を行っているんだ。平成17年(2005年)の福岡県西方沖地震の時にも、改良工事が済んでいる土地では、「液状化」現象は起きていないんだよ。

それに、アイランドシティにかかる3つの橋は、すべて最新の設計基準で造ってあるから、平成7年(1995年)の阪神・淡路大震災と同じくらい大きな地震が起きても壊れないような強さになっているんだ。

新しい病院の建物も、地震の力をできるだけ受けしないような免震構造になるそうだよ。



じゃあ、地震が来ても安心ね。

開院時期：平成26年（2014年）3月予定

■ 新病院の概要

	新病院	現こども病院・感染症センター
医療機能	・小児医療（地域・高度）	・小児医療（地域・高度）
	・小児救急医療（1次※ ¹ ・2次・3次※ ² ）	・小児救急医療（2次・3次※ ³ ）
	・周産期医療	—
	—	・感染症※ ⁴ 医療
病 床 数	260床	214床（うち24床は感染症※ ⁴ 病床）
敷地面積	35,000㎡	16,927㎡
延床面積	26,000㎡	16,821㎡
駐車台数	450台	105台
附帯施設	院内保育所 （職員の子どもを預かる保育所）	—
注 釈	※1 小児救急（時間外1次）については、取り組む方向で検討する。 ※2 内科系疾患に加え、外科系疾患の治療も行う。重症やけど等についても、応急処置等を行う。	※3 内科系疾患を主体に診療する。 ※4 いわゆる感染症法における1類、2類、指定感染症を対象とした医療を指す。

■ 位置図



■ 交通のご案内

天 神	バスで約20分 （都市高速道路利用）
JR 博多駅	バスで約30分 （都市高速道路利用）
千早駅	バスで約15分

**新病院
建設地**
（アイランド
シティ）

■ 問い合わせ先

福岡市保健福祉局新病院企画調整担当
 〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8番1号
 TEL 092-711-4004 FAX 092-733-5766
 電子メール byoin.PHWB@city.fukuoka.lg.jp

新病院整備等の詳細は、
ホームページを
ご覧ください

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/>

福岡市ホームページ > 市政情報 > 主な事業・取り組み > 市立病院